

## スケジュール

\*時間、内容、講師等は変更することがあります。各会場へのお問い合わせはお控えください。

### 1日目 復元映画上映 11月15日(金) 会場：京都府京都文化博物館フィルムシアター

11:00~ 受付

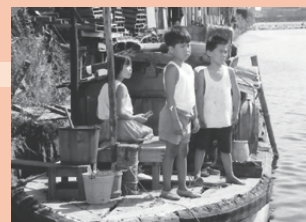
11:30~ 開会の辞

11:40 開映 『泥の河』(1981年 監督:小栗康平、105分)\* 上映後、小栗康平監督にご登壇いただきます。

15:30 開映 『夢みるように眠りたい』(1986年 監督:林海象、81分)\* 上映後、林海象監督にご登壇いただきます。



小栗康平監督



『泥の河』の一場面

### 2日目 実習・見学 11月16日(土)

13:00~

(1) 京都経済センター 3F 会議室

1. 8mm 地域映画実習 (4名×4チーム 計16名) / 会議室 3D

家庭に残された8mm フィルムを使い、グループワークで地域映画を作成し、完成作品を上映

2. ノンフィルムの保存と修復 (15名×2回 計30名) / 会議室 3E

バラエティに富む映画関連資料(ノンフィルム)の保存に関する事例報告と簡易的な修復実習

3. ビデオテープの修復とデジタル化 (15名×2回 計30名) / 会議室 3G

多様なビデオテープの概要を理解するとともに、VHS テープのクリーニングとデジタル化を体験

4. フィルム祭! 屋台だ! 夜店だ! 縁日だ! フィルムと戯れよう! (計75名) / 会議室 3F

IMAGICA Lab.、コダック、東京現像所、吉岡映像の屋台(ブース)を回ってフィルムを体験

(2) 株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所とその周辺 (計15名)

太秦の撮影所を巡りながら、日本映画のいまとむかしを学ぶ秋の遠足

17:30~19:30 懇親会 (京都経済センター 3F フリースペースにて、会費4,000円 \*希望者のみ)



実習にて染色したフィルム (2018年)



東京現像所での実習作業 (2017年)

### 3日目 講義 11月17日(日) 会場：京都経済センター 6F 会議室 6C・D

10:00~ 受付

10:30~ 会場説明

10:45~ 「企業アーカイブズにおける視聴覚資料の取り組みについて」

小泉智佐子(資生堂企業資料館) 他

11:45~ 日本映像アーキビストの会(仮称)呼びかけ人会によるトークセッション

「一映像アーカイブのための資金調達の壁を突破する!」

三好大輔(株式会社アルプスピクチャーズ)、中西美穂(大阪アーツカウンシル) 他

13:00~ 昼休憩

14:00~ 「地域における映像アーカイブの取り組み」

須田建太郎(京都府商工労働観光部ものづくり振興課)、

森脇清隆(京都府京都文化博物館)

14:30~ 「デジタル復元最新事例報告 1」

『白蛇伝』(1958年 監督: 森下泰司)

三浦和己(国立映画アーカイブ)、権原史隆(東映ラボ・テック株式会社)

15:15~ 「デジタル復元最新事例報告 2」

『八甲田山』(1977年 監督: 森谷司郎)

木村大作(撮影監督)、山下純(株式会社東京現像所)

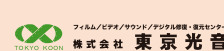
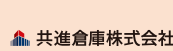
16:15~ 閉会の辞 (終了予定 16:30)



三好大輔氏



参加者の集合写真 (2017年)



#### 【お申込み期間】

2019年10月4日(金) 午前10時~

※ 定員に達し次第締め切らせていただきます。

お申込み方法については、下記のURLをご覧ください。

<http://ws2019kyoto.peatix.com>

#### 【お問い合わせ】

〒530-0035 大阪市北区同心1-8-14

株式会社 IMAGICA Lab. 内

「映画の復元と保存に関するワークショップ 2019 IN KYOTO」実行委員会事務局

Tel. 06-6353-2195 担当: 090-5409-8320 (鈴木)

Email: [suzuki.hiromi@imagicalab.co.jp](mailto:suzuki.hiromi@imagicalab.co.jp)